

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	2		広いとは言えないが、机やカーペット等を使い、エリア分けをして過ごしやすいしている。設備基準である児童1人当たりの床面積2.47㎡以上を確保できている。
	2	職員の配置数は適切であるか	6			人員配置基準は満たしており、現在の利用者数に対して適切な人員が確保できている。
	3	事業所の設備等について、空間づくりや安全面の配慮が適切になされているか	6			児童が落ち着いて活動できる空間づくりに心掛けている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6			運営会議等を利用して、業務改善に努めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6			毎年アンケート調査を実施し、職員全員でアンケートの結果を確認して業務改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6			毎年ホームページで公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1		5	実施していない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6			外・内部研修を行っている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			アセスメントを行い計画書が作成されている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6			独自のアセスメントシートを活用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6			様々な活動プログラムが行えるように、スタッフ間で話し合いサービス提供を行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6			様々な活動プログラムが行えるように、スタッフ間で話し合いを行っている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6			休日には外出や創作活動、SST等、平日に行えない支援を設定している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6			職員間での情報を共有し作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6			気をつけることや前日の出来事等を確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6			毎日の終礼でその日の支援の共有を行っている。
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6			支援記録へ記録を行い、改善につなげている。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6			目標に対しての評価や新たな課題について話し合いを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	6			実施している。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6			児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	3	3		学校によっては担任の先生とのやりとりが無いところもあり十分でないと感じる。学校により連絡できたり、難しかったりする。困難なケースは保護者から連絡をしてもらうようにしている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1		5	現在、該当者なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		1	5	現在、該当者なし。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		1	5	現在、該当者なし。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6			発達センターや児童相談所等の関係機関と連携をしている。
	26	子どもが外に出る機会を設けており、いろいろな人との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6			町内のごみ拾いや近所の公園へ出かけたり、就労支援施設で就労体験をさせてもらっている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6			積極的に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			ひびきやご家庭の様子は連絡帳や送迎時に伝え合い共有している。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	2	3	ペアレントトレーニングはできないが、ひびき内で行っている支援内容等を伝えたり、アドバイスをすることもある。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			契約時や面談時に行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	2		今年度、2回保護者会ができた。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	1		現在、苦情はないが、その都度解決できるよう努めたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			毎月、活動内容と写真、次月の行事予定を載せたお便りを発行している。
	35	個人情報に十分注意しているか	6			注意している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	1	3	今後、どのような方法で地域との関わりを持っていくかを考えていきたいと思う。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	3		職員への周知はしてあるが、保護者へはできていないように思う。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			年に数回の避難消火訓練、防災訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			研修(外部)への参加をして、その後内部研修を行った。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	6			利用契約書に説明を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	2	3	現在、医師の指示書に基づく該当者がいない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	3	1	事例集はないが、ヒヤリハットがあった場合は報告書を作成し共有している。